



TOKAI UNIVERSITY HOSPITALS

東海大学医学部付属病院

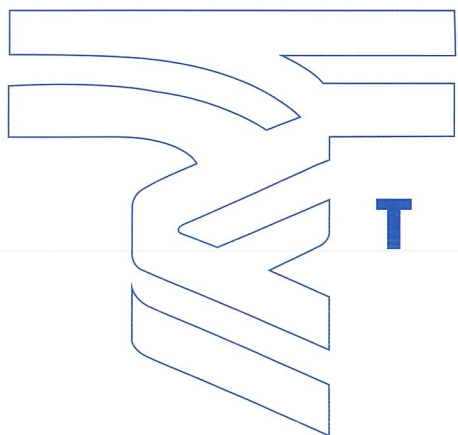
東海大学医学部付属東京病院

東海大学医学部付属大磯病院

東海大学医学部付属八王子病院

高度な技術追求と、人間性豊かな 病院づくりを目指して

東海大学では医学部に4つの付属病院を設置し、研究・教育・診療を連携させた総合的な医療活動に取り組んでいます。4つの付属病院は有機的な連携を行い、高度な医療技術の追求とともに、心温まる医療と看護を通じて人間性豊かな病院づくりを目指しています。



TOKAI UNIVERSITY

東海大学では、1975年に医学部のある神奈川県伊勢原市に医学部付属病院を開設いたしました。その後、1983年に付属東京病院、1984年に付属大磯病院、そして2002年に付属八王子病院とその医療活動の拠点を広げてきました。

東海大学の創立者・松前重義は、医学部・付属病院の開設にあたり、「ヒューマニズムと科学の調和をはかり、新しい医療体制の確立をめざす」と宣言しています。同時に語られた「人格豊かで幅広い視野とヒューマニズムに基づく使命感を持った医師の育成」、「患者さんの精神的な支えとなり、心あたまる人間性豊かな病院の建設」は今も変わることのない、医学部付属病院の理念です。世界医師会が患者の権利について採択した『リスボン宣言』を尊重し、患者さんを主体とする医療を実現しています。

4つの付属病院は、各地域に密着した医療活動に努めるとともに、最先端の研究・教育に取り組む医学部、看護・福祉分野におけるスペシャリストを養成する健康科学部をはじめとする東海大学が持つ19の学部や各大学院、研究所、看護に関する知識と技術の習得だけでなく人間性を重視した教育を行う医療技術短期大学と有機的な連携を図り、総合的な医療活動を展開しています。

その研究成果を診療面に反映することはもちろん、学生が診療チームの一員に加わるなど、医療従事者の育成の場として、実践的な教育の成果をあげています。

OISO

東海大学医学部付属大磯病院
神奈川県中郡大磯町

- 地域医療の中核となる総合医療の提供
- 急性期から慢性期まで一貫した医療体制



東海大学医学部附属八王子病院

東京都八王子市

- 地域医療への貢献
- 最新医療技術の推進
- 小児を含む救急医療体制の整備

HACHIOJI ●

東海大学医学部附属東京病院

東京都渋谷区

- 大学病院としての機能を備えた都市型病院
- 人間ドック・抗加齢ドック

TOKYO ●

S I T Y H O S P I T A L S

ISEHARA ●

東海大学医学部附属病院

神奈川県伊勢原市

- 高度最先端医療の推進
- 高度救命救急センター
- 災害拠点病院
- がん診療連携拠点病院
- 患者支援センター
- 総合周産期母子医療センター
- 造血幹細胞移植推進拠点病院
- 肝疾患診療連携拠点病院
- 難病治療研究センター
- 認知症疾患医療センター



1 ISEHARA

ダ・ヴィンチ・サージカルシステム

2 TOKYO

外来待合ロビー



3 ISEHARA

東海ホール

4 OISO

救急外来 中央処置室



5 ISEHARA

中央手術室

6 ISEHARA

南欧風パティオ



7 HACHIOJI

モール棟 (各種売店、コンビニ等)

8 ISEHARA

総合周産期母子医療センター/分娩室



東海大学医学部付属病院

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143 Tel.0463-93-1121(代)
http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/



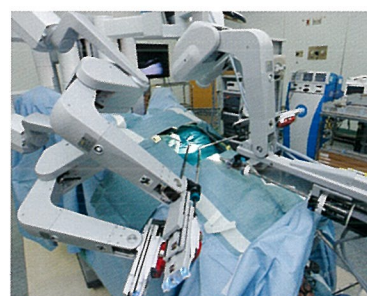
病院延床面積 69,943m² (付属棟含む)
地上14階・地下1階
病床数 804床

- 特定機能病院
- 臨床研修病院
(医学部・健康科学部・医療専門職の教育、研修)
- 高度救命救急センター
(ドクターヘリ広域救急搬送システム)
- 総合周産期母子医療センター
- 患者支援センター
(患者支援や地域医療連携)
- 健診センター
- オンコロジーセンター
- がん診療連携拠点病院
- 難病治療研究センター
- 肝疾患医療センター
- 認知症疾患医療センター
- 災害拠点病院
- 難病医療費助成指定医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関

診療科

総合内科 General Medicine
循環器内科 Cardiology
呼吸器内科 Pulmonary Medicine
消化器内科 Gastroenterology
血液腫瘍内科 Hematology and Oncology
リウマチ科 Rheumatology
神経内科 Neurology
腎内分泌代謝内科 Nephrology and Metabolism
東洋医学科 Complementary and Alternative Medicine
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery
移植外科 Transplant Surgery
呼吸器外科 Thoracic Surgery
消化器外科 Gastrointestinal Surgery
乳腺内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery
小児外科 Pediatric Surgery
脳神経外科 Neurosurgery
泌尿器科 Urology
麻酔科 Anesthesiology and Perioperative Care
救命救急科 Emergency and Critical Care Medicine
精神科 Psychiatry and Behavioral Science
小児科 Pediatrics
産科 Obstetrics
婦人科 Gynecology
皮膚科 Dermatology
眼科 Ophthalmology
耳鼻咽喉科 Otolaryngology
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery

整形外科 Orthopaedic
放射線治療科 Radiation Oncology
歯科 Dentistry
歯科口腔外科 Oral Surgery and Dentistry
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine
遺伝子診療科 Genetic Counseling
画像診断科 Diagnostic Imaging
臨床検査科 Clinical Laboratory
病理診断科 Diagnostic Pathology
緩和ケア科 Palliative Care
細胞移植再生医療科 Cell Transplantation and Regenerative Medicine



最先端医療の提供に努め、 地域の中核病院としての使命を果たす

Striving to offer leading-edge medical care to achieve our mission as a core hospital in the area

東海大学医学部附属病院は、特定機能病院として多岐にわたる高度医療を提供すると同時に、多種多様な医療専門職の教育・研修の場でもあります。

また高度救命救急センターおよび総合周産期センターを有し、神奈川県湘南～県西地域における急性期医療の中核的医療機関としての役割を担っており、広域救急搬送システムである神奈川県ドクターヘリの運用医療機関でもあります。さらにがん診療連携拠点病院として、悪性腫瘍に対する専門的診療を行っています。

常に最先端の知識・技術を追求して高度医療の提供に努め、質の高い医療を提供すべく心がけています。

Tokai University Hospital (Isehara) offers various advanced medical care services as an advanced treatment hospital and offers education and training to diverse medical professionals.

With an advanced emergency medical service center and a perinatal center,

it covers the Shonan and west Kanagawa areas and serves as a core medical organization for acute medical care.

It is also responsible for operating a medical helicopter, a broad-area emergency medical transport system, on behalf of Kanagawa prefecture.

In addition, the hospital offers professional treatment for malignant tumors as a designated base hospital for cancer treatment cooperation.

The hospital constantly pursues the latest knowledge and technology to offer advanced high-quality medical care.

診療体制

三次救急医療機関として超急性期医療に積極的に取り組む
Provision of intensive care as a tertiary emergency medical center



ドクターヘリ（ヘリポート）

当病院の高度救命救急センターは、神奈川県の湘南・県西・一部県央地域を担当する三次救急医療施設です。現在、全国で41カ所（2019年2月時点）が厚生労働省によって高度救命救急センターとして認定されていますが、平成28年度及び平成29年度の全国救命救急センター評価（厚生労働省）にて、東海大学医学部附属病院はA評価を受けました。

同センターには、急性中毒診療検査

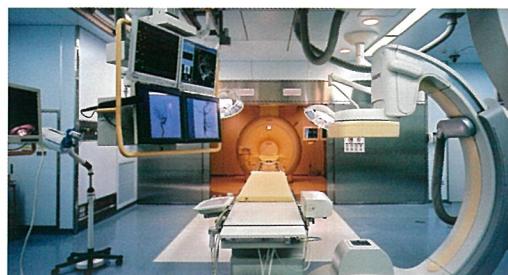
室、熱傷センター、15人収容できる大型高気圧酸素治療装置、MRXO（MR、CT、アンギオ〔血管内造影〕などの検査機器と手術台が一体となる手術室）など、最先端の診療システムが整備されています。さらに、湘南地区のメディカルコントロール中核病院として、救急救命士（救急隊員）が救急現場に到着した時点から支援をスタートし、搬送中の応急処置に対してホットラインで医師が指導・助言をしています。

ドクターヘリによる 広域救急搬送システム

東海大学医学部附属病院では平成11年から、厚生省（当時）のドクターヘリ試行的事業を行い、1年半の期間に485名の救急患者さんを搬送しました。平成14年からは神奈川県の事業として再開し、年間約300名の患者さんを搬送しており、出動地域として神奈川県全域・山梨県東部をカバーしています。



高度救命救急センター内の熱傷センター



MRXO



診療体制

常に最先端の知識・技術を駆使した医療の提供に努める
The latest knowledge and technology



医療用ロボット 「ダ・ヴィンチ・サージカルシステム」

2014年3月に当病院に導入した医療用ロボット「ダ・ヴィンチ・サージカルシステム」は、内視鏡下手術（腹腔鏡下手術・胸腔鏡下手術）にロボットの機能を付加することにより、従来不可能とされてきた視野の確保、7つの関節を持つ3本のアームと自在に回転する鉗子による細密な動きが可能です。これらの機能により、従来の術式に比べ、より傷口が小さく低侵襲な手術を実現するとともに、手術に伴う出血量の低減、術後の疼痛軽減、機能温存の向上、合併症リスクの解消、入院日数の短縮など、多くのメリットを得ることができます。



最新鋭の汎用血管 X 線装置

東海大学医学部附属病院に導入されている汎用血管 X 線装置は、高解像度の 3D 画像によって、精緻な手技をサポートすることができ、脳血管から末梢血管までくまなく画像化することによって、より正確かつ的確な治療が可能です。また、検査・治療の際の被ばく線量も低く抑えられているので、安全に最新の医療を提供できる装置です。

画像診断システム

当病院では最新型を含めて列数の違う 5 台の CT が導入され、合わせて約 150 件もの CT 検査が 1 日に行われています。他にも、90 ～ 100 件の MRI (6 台) 検査、400 ～ 500 件の X 線一般撮影が 1 日に行われており、早期診断に大きく貢献しています。



CT 検査室



PET-CT



入退院センター

患者さんの満足度を高める仕組みづくりに取り組み始めたのは、新病院棟建設計画が始まった1999年のこと。当時、日本の医療機関において、入退院をコーディネートするシステムはほとんどありませんでした。しかし、患者さんによりよい医療環境を提供するには、入退院のシステム化は早急に取り組むべき課題と考え、東海大学医学部附属病院独自のシステムを構築し、PFM（ペイシェント・フロー・マネジメント）と名付け、入院準備の段階から退院後の療養生活までを見据えた一貫した医療を提供しています。



外来待合室



外来受付カウンター



総合周産期母子医療センター

困難な出産が予想される妊婦さんの管理・治療を行う「母体胎児集中治療室」(MFICU)と、重症新生児を対象とする「新生児集中治療室」(NICU)を備え、リスクの高い出産に対して最先端医療の提供を行う医療施設で、厚生労働省から指定を受けています。





免震装置

病院棟は免震装置を配置し、震度6強レベルの大地震下においても揺れを低減、患者さん、医療者の安全を担保し継続して診療ができるように対応しています。

耐火構造

各階3区画程度の防火区画に分けられ、火災時は防火扉により遮断されます。また、壁面等耐火素材を利用していますので延焼を防ぐことができます。

エネルギー対策

伊勢原校舎敷地内にエネルギーセンターを配置しており、非常用発電機・氷蓄熱システム（夜間電力を用いた冷熱装置）等を配備しており、停電時でも約3日分の自家発電能力を備えています。また、患者食・非常用薬剤も3日分備えています。



災害拠点病院

災害拠点病院に指定されているため、周辺地域で大震災等発生した場合は災害医療の中核病院となります。

DMAT 指定病院

大震災等の自然災害や多傷病者が発生する都市型事故の現場へ専門医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）が出動します。



東海大学医学部附属病院健診センター



大学病院としての機能を活かした 迅速かつ的確な診察・検査

東海大学医学部附属病院健診センターの一般健診コースは、日本人間ドック学会が定める基準項目以外に、血液検査による血液型・C型肝炎検査をはじめ、前立腺検査、乳房超音波検査や子宮頸がん検診などの婦人科検査などを標準検査項目に含めています。当日の検査終了後、医師から受診者へ検査結果に基づく指導が行われます。病院併設型の施設ですから、病気が発見された患者さんが適切な治療を受けられるのはもちろんのこと、生活習慣の改善が必要と判断された場合、食事や運動について具体的なアドバイスが行われます。